

北区日中会報

発行日
令和5年7月1日
第54号

編集 北区日中友好協会広報
発行 北区日中友好協会
東京都北区王子2-14-17
丸山事務所内 TEL03-3911-2381

令和5年度の定期大会 4年ぶりに開催 新会長に山田加奈子北区長を選出

北区日中では6月3日(土)、北とぴあの会議室において令和5年度の定期大会を開催、全ての議案が承認された他、役員改選期にあたり、新会長に山田加奈子区長が選出され、新役員を代表して就任の挨拶が述べられました。その後、会場を15階ペガサスホールに移し、友好促進懇談会を開催しました。コロナ渦明けの3年ぶりの懇談会には46名の方が参加され、その内、中国の将来を担う後楽寮の国費留学生など10名が招待されました。開会に先立ち、参加者が壇上に掲げられた日中両国国旗に注目する中、日中両国の国歌演奏がCDにより流



されました。はじめに大崎美代子副会長が主催者を代表して挨拶に立ち、来賓の都議会議員大松成先生、北区議会大沢たかし議長より祝辞が述べ

られた後、北区議会友好議員連盟の戸枝大幸会長の乾杯の発声により、懇談に入りました。懇談の途中で後楽寮の留学生が、それぞれ流暢な日本語で出身地と大学名、専門科目等を自己紹介すると参加者から温かい拍手が送られました。その後、女子留学生の二胡演奏があり、アンコール曲の後、友好議連の先生方全員が舞台上がり、留学生の二胡の伴奏で「ふるさと」を合唱すると、会場には明るい笑顔が溢れ、惜しめない拍手が送られました。大いに友好を深めた後、皆川誠一副会長の閉会の挨拶で楽しく和やかな懇談会の幕を閉じました。



◎ 令和4年度活動報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

年月日	内 容	会 場
R4. 4月	理事会（定期大会、他） 開催せず	郵送対応
R4. 4月17日	スポーツ交流 開催せず	滝野川体育館
R4. 5月	定期大会他 開催せず	郵送対応
〃	友好交流促進懇談会 開催せず	
7月 9日	中国伝統芸能と変面ショー 80名参加	北とぴあペガサスホール
10月1,2日	区民まつりに参加(国際ふれあい広場) 中止	飛鳥山公園
11月18日	王子小と北京第一実験小とのオンライン交流会 日本側 5,6年生と教師 220名 中国側全児童と 教師 3,520名参加 *北京市西城区外事弁公室との共催	王子小体育館 北京第一実験小の全教室
R5. 1月29日	春節を祝う「二胡・雑技・変面ショー」243名参加	王子小体育館

※中止(開催せず)となった各行事は新型コロナウイルス感染状況の判断による。

※上記以外に各行事毎に実行委員会、事務局会議、準備会を随時開催

※「二胡・雑技・変面ショー」は本会法人会員の株ジャパンエンタープライズ様からのご寄付により開催。

◎ 令和5年度活動計画

世界中で感染拡大した新型コロナウイルスも終息に向かいつつある。本会は昨年、日中国交正常化50周年を記念してのセミナーや小学生のオンライン交流会を開催し、各方面から高い評価をいただいた。本年は日中平和友好条約締結45周年の節目の年にあたることから、本会は協会設立の精神に基づき、日中友好がアジアの安定と世界の平和実現に不可欠であることを深く認識しつつ、感染予防の対策を講じ、会員が安心して参加できるよう、事業を工夫する。

会員、区民の日中交流への理解がこれまで以上に深められるよう以下の事業を意義あるものとして開催する。

◎ 令和5年度行事計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

年月日	行 事	会 場
R5. 5月 1日	理事会	北とぴあ 902
5月14日	スポーツ交流 開催せず	滝野川体育館
6月 3日	定期大会	北とぴあ 802号室
〃	友好交流促進懇談会	北とぴあペガサスホール
7月中旬	講演会またはミニコンサート	未定
10月7,8日	区民まつりに参加	飛鳥山公園
11月上旬	横浜中華街散策	横浜中華街
R6.3月上旬	春節を祝う会	王子小学校

* 5月14日のスポーツ交流は新型コロナウイルス感染防止のため中止

* 青少年キャラバン等で西城区の高校生等が訪日の際は、記念品などを贈呈

* 西城区訪日団が来区の際は歓迎宴を開催し、記念品を贈呈

* 各行事の計画、執行に合わせて理事会、実行委員会、事務局会議を随時開催

* 行事についてはその都度お知らせいたします

山田会長就任の挨拶

北区日中が中心となり区民主体の交流促進を

この度、令和5年北区日中友好協会定期大会におきまして、会長職に就任いたしました、区長のやまだでございます。

会員の皆様には、日頃から日中友好親善と北区日中友好協会の発展にご尽力をいただき、感謝申し上げます。

令和元年に世界で初めての新型コロナウイルス感染者が報告され、また、我が国においても、令和2年に感染者が確認されて以来、瞬く間に全国へと感染が拡大し、以後、3年以上もの長きに渡り、未知のウイルスとの戦いを強いられてきました。本会に於いても計画していた行事は、軒並み中止延期を余儀なくされてきましたが、令和4年度は、7月に中国伝統芸能と変面ショー、11月に王子小学校と北京第一実験小学校とのオンライン交流会、そして本年1月に春節を祝う、二胡・雑技・変面ショーを開催することができました。



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが2類相当から5類に移行され、両国では、新型コロナウイルスの行動制限が大幅に緩和されるなど、コロナ禍前の日常に戻りつつあります。

本年は、日中平和友好条約締結45周年の節目の年にあたることから、本会は協会設立の精神に基づき、日中友好がアジアの安定と世界の平和実現に不可欠であることを深く認識しつつ、感染防止の対策を講じたうえで、会員の皆様が安心して参加できるよう事業を工夫してまいります。

また、今後も、両国が各分野において交流を拡大・深化することにより、日中友好の輪が広がることを願っています。北区においては、北区日中友好協会が中国との友好交流の中心となり、行政と連携を図りながら、区民主体の交流を一層推進していきたいと考えております。

皆様共々、友好交流活動を推進して参りますので、皆様のご理解とご協力を切に願う次第でございます。

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症は完全に終息した訳ではありませんので、油断せずにお過ごしいただければと思います。

結びに皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「二胡・雑伎・変面ショー」で春節を祝う ホットなイベントでコロナウイルスも退散！？

王子小学校体育館で開催

北区日中では春節1週間後の1月29日に王子小学校体育館を会場に「二胡・雑伎・変面ショー」を243名(内中国人73名)の参加者を得て盛大に開催しました。北区日中では毎年、春節餃子パーティーを王子小ランチルームで開催してきましたが、コロナウイルス感染拡大の影響でこの2年間は開催を見送り、今年も飲食を伴うパーティーはリスクが大きいとの判断で、その代わりとして一昨年の11月に開催した「二胡・雑伎・変面ショー」を再び春節イベントとして開催することとしました。はじめに日本の獅子舞が登場し、その後、中国の獅子舞が続き、最後は大変珍しい日中獅子舞の共演となりました。二頭の獅子は舞台から客



席に下り、次々に観客の頭をかじり、厄を祓い福を注入。中国獅子舞のメンバーは前回と異なり、日中初顔合わせの上、開演前のわずかな時間でのリハーサルにもかかわらず、息ピッタリの共演に観客からは惜しみない拍手が送られていました。次の二胡の演奏では日本のポップス、中国伝統曲の後、ジブリ映画

の挿入曲にも使われたユーミンの「やさしさに包まれたなら」がアンコール曲となると、思わずマスク越しに歌詞を口ずさむ人も。次に登場したのは雑伎の壺回し。大小2種類の壺を頭の上でクルクル回したり、放り投げては首の後ろで受け止める迫力のある演技に観客はハラハラドキドキ。

そして最後に変面が登場すると中国第1級の国家機密といわれる変面の瞬間を観客は目をこらして見るものの、さっぱり分かりません。恐るべし中国四千年の歴史。最後に出演者全員が揃って舞台上がり、惜しみない拍手を受け終演となりましたが、その後、出演者との記念写真を求める方の行列がいつまでも続いていました。

